

特別企画

2023年6月21日

【有効回答6,191社】

第28回「新型コロナウイルスに関するアンケート」調査

◇調査結果のポイント◇

- ・コロナ禍の企業活動への影響、「すでに収束」は40.1%で過去最高
- ・今年5月の売上高、「前年以上」は62.1%、「コロナ禍前以上」は50.8%
- ・経営課題、「資材高騰」と「人手不足」をあげる企業がともに約6割
- ・コロナ支援策、「評価する」が45.1%
- ・自社業界の倒産見通し、「増加する」が57.3%

おかげさまで131年



株式
会社

東京商工リサーチ

<https://www.tsr-net.co.jp>

自社業界の倒産見通し、「増加する」が57.3% ～ 第28回「新型コロナウイルスに関するアンケート」調査 ～

問合先：情報本部

電話：03(6910)3155

新型コロナウイルス感染拡大の企業活動への影響について、「すでに収束した」と回答した企業は40.1%で、2020年8月に設問を設定して以来、最高となった。また、今年5月の売上高が「前年以上」となった企業は62.1%にのぼった。5月8日に新型コロナの分類が「5類」へ引き下げられたことで、訪日外国人や人流の増加が促され、経済活動がさらに活性化したことが影響したとみられる。

政府がコロナ禍で実施した企業向け支援策について、45.1%の企業が「評価する」と回答した。支援策別では、「持続化給付金」や「家賃支援給付金」などの給付型、「実質無利子・無担保（ゼロ・ゼロ）融資」などの貸付型を評価する声が6割近くに達した。一方で、「財源の検証が不十分」との声も多く、効果検証には丁寧な説明も必要になりそうだ。

現在、直面する経営課題は、「資材高騰」と「人手不足」をあげる企業がともに約6割に達した。ロシアのウクライナ侵攻や円安、生産年齢人口の減少などを背景に、こうした課題は短期的に解消しそうにない。また、今年度（2023年度）の自社業界の倒産見通しについて、「増加する」との回答が57.3%と半数を超えた。

コロナ禍は5類への移行で一区切りしたものの、今回の調査で構造的な問題から先行き見通しを懸念する企業が多いことがわかった。コロナ禍で見えにくくなっていた課題への対応が企業、国内経済の成長のカギを握っている。

※ 本調査は6月1日～8日にインターネットによるアンケート調査を実施。有効回答6,191社を集計分析した。

※ 前回（第27回）調査は、2023年4月20日公表（調査期間：2023年4月3日～11日）。

※ 資本金1億円以上を大企業、1億円未満や個人企業等を中小企業と定義した。

Q1. 新型コロナウイルスの発生は、企業活動に影響を及ぼしていますか？（択一回答）

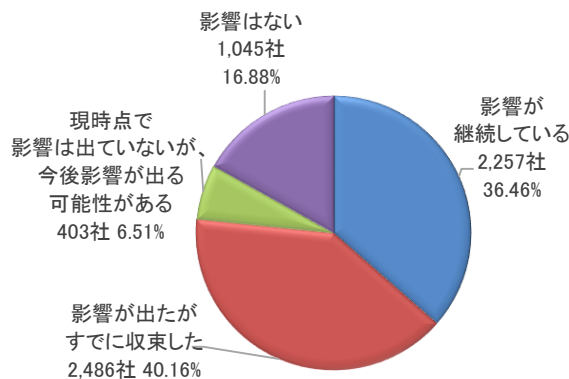
「影響が継続」は36.4%、過去最低

（全企業6,191社）

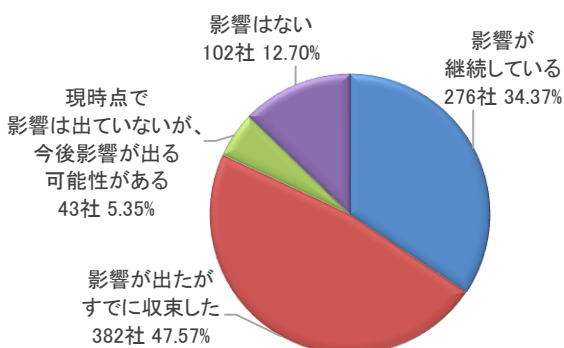
「影響が継続している」は36.4%（6,191社中、2,257社）だった。前回調査（4月）の46.1%より10ポイント近く改善し、過去最低を更新した。「影響が出たがすでに収束した」は過去最高の40.1%（2,486社）だった。

規模別では、「影響が継続している」は、大企業が34.3%（803社中、276社）、中小企業が36.7%（5,388社中、1,981社）だった。前は、それぞれ過去最低の43.0%、46.5%だったが、いずれも更新した。

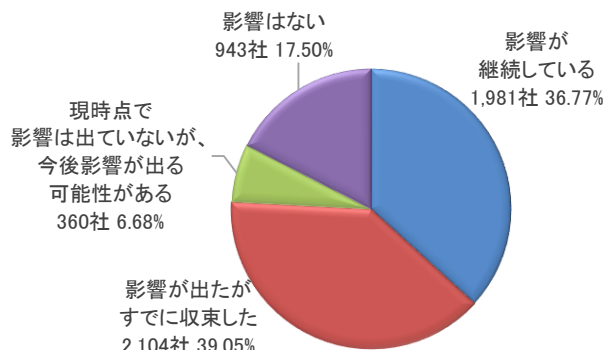
本設問を設定した2020年8月以来、「影響が継続」は全企業、大企業、中小企業ともに過去最低、「すでに収束」はともに過去最高となった。



（資本金1億円以上803社）



（資本金1億円未満5,388社）



Q2. 貴社の2023年5月の売上高は、前年同月（22年5月）を「100」とすると、どの程度でしたか？

6割超が前年以上の売上を確保

今年5月の売上高を聞いた。Q1で「影響が継続している」、「影響が出たがすでに収束した」と回答した企業のうち、3,607社から回答を得た。

「100以上」は62.1%（2,241社）で、37.8%が前年割れ（減収）だった。前回（4月）は、それぞれ61.3%、38.6%だった。

規模別の「減収企業率」は、大企業が32.8%（402社中、132社）、中小企業は38.5%（3,205社中、1,234社）だった。前回はそれぞれ31.4%、39.5%。

業種別「売上半減率」（前年同月比50以下）、アパレル小売がワースト

5月の売上高が前年同月と比べて半減（50以下）した企業を業種別で分析した（全企業、業種45分類、回答母数10以上）。人流が回復するなか、業績回復が遅れている業種だ。

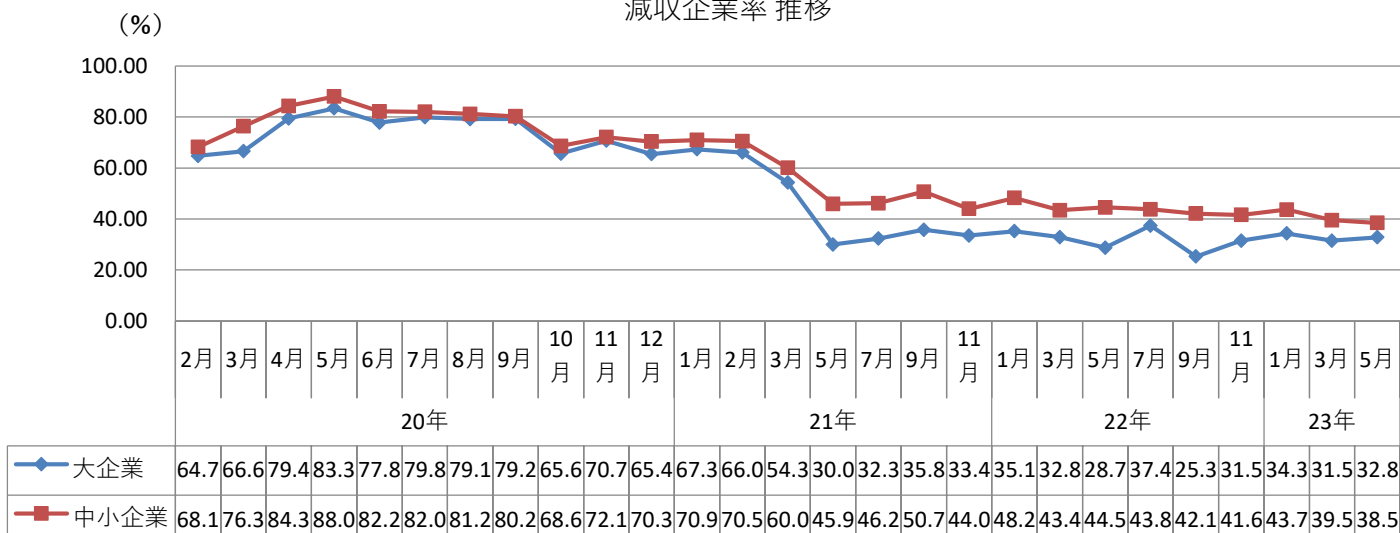
「売上半減率」が最も高かったのは、アパレル小売の「織物・衣服・身の回り品小売業」で16.6%（12社中、2社）。以下、「機械器具小売業」の13.0%（46社中、6社）、「各種商品卸売業」の10.5%（19社中、2社）と続く。

5月の売上高(前年同月比)	（）内は構成比		
	中小企業	大企業	全企業
100以上	1,971社 (61.49%)	270社 (67.16%)	2,241社 (62.12%)
90～99	564社 (17.59%)	70社 (17.41%)	634社 (17.57%)
80～89	352社 (10.98%)	30社 (7.46%)	382社 (10.59%)
70～79	124社 (3.86%)	16社 (3.98%)	140社 (3.88%)
60～69	72社 (2.24%)	5社 (1.24%)	77社 (2.13%)
50～59	45社 (1.40%)	5社 (1.24%)	50社 (1.38%)
40～49	15社 (0.46%)	2社 (0.49%)	17社 (0.47%)
30～39	27社 (0.84%)	2社 (0.49%)	29社 (0.80%)
20～29	15社 (0.46%)	1社 (0.24%)	16社 (0.44%)
10～19	9社 (0.28%)	0社 (0.00%)	9社 (0.24%)
0～9	11社 (0.34%)	1社 (0.24%)	12社 (0.33%)
合計	3,205社 (100%)	402社 (100%)	3,607社 (100%)

23年5月の売上高が前年比「半減」以下の業種(上位15業種)

順位	業種	構成比	回答	母数
1	織物・衣服・身の回り品小売業	16.66%	2	12
2	機械器具小売業	13.04%	6	46
3	各種商品卸売業	10.52%	2	19
4	物品賃貸業	7.69%	2	26
5	汎・生産・業務用機械器具製造業	7.05%	17	241
6	情報サービス・制作業	6.87%	13	189
7	非鉄金属製造業	6.25%	1	16
8	不動産業	5.26%	4	76
9	建設業	4.81%	19	395
10	宿泊業	4.76%	1	21
11	電気機械器具製造業	4.41%	6	136
12	飲食料品小売業	4.16%	1	24
13	学術研究、専門・技術サービス業	3.75%	6	160
14	他のサービス業	3.70%	7	189
15	金属製品製造業	3.54%	5	141

減収企業率推移



※2021年度より不定期実施

Q3. 貴社の2023年5月の売上高は、コロナ禍の4年前（2019年）5月を「100」とすると、どの程度でしたか？

企業規模で大きな差

コロナ禍前の2019年5月と比較した売上高を聞いた。Q1で「影響が継続している」、「影響が出たがすでに収束した」と回答した企業のうち、3,446社から回答を得た。

「100以上」は50.8%（1,752社）で、49.1%が減収だった。規模別では、大企業の60.9%（369社中、225社）、中小企業の49.6%（3,077社中、1,527社）がコロナ禍前以上の売上高を確保した。企業規模での格差が大きく表れた。

売上高が半減以下となった「売上半減率」の業種別（全企業、業種45分類、回答母数10以上）では、旅行や葬儀、結婚式場などを含む「生活関連サービス業、娯楽業」が17.4%（63社中、11社）で最も高かった。

5月の売上高(2019年同月比)

	()内は構成比		
	中小企業	大企業	全企業
100以上	1,527社 (49.62%)	225社 (60.97%)	1,752社 (50.84%)
90～99	518社 (16.83%)	71社 (19.24%)	589社 (17.09%)
80～89	418社 (13.58%)	38社 (10.29%)	456社 (13.23%)
70～79	231社 (7.50%)	12社 (3.25%)	243社 (7.05%)
60～69	143社 (4.64%)	12社 (3.25%)	155社 (4.49%)
50～59	103社 (3.34%)	9社 (2.43%)	112社 (3.25%)
40～49	41社 (1.33%)	1社 (0.27%)	42社 (1.21%)
30～39	37社 (1.20%)	0社 (0.00%)	37社 (1.07%)
20～29	17社 (0.55%)	0社 (0.00%)	17社 (0.49%)
10～19	26社 (0.84%)	0社 (0.00%)	26社 (0.75%)
0～9	16社 (0.51%)	1社 (0.27%)	17社 (0.49%)
合計	3,077社 (100%)	369社 (100%)	3,446社 (100%)

23年5月の売上高が19年比「半減」以下の業種(上位15業種)

順位	業種	構成比	回答	母数
1	生活関連サービス業、娯楽業	17.46%	11	63
2	汎・生産・業務用機械器具製造業	14.58%	35	240
3	学術研究、専門・技術サービス業	12.25%	19	155
4	物品賃貸業	12.00%	3	25
5	機械器具小売業	11.90%	5	42
6	飲食業	11.76%	4	34
7	繊維・衣服等卸売業	10.52%	4	38
8	建設業	10.33%	40	387
9	情報サービス・制作業	8.23%	14	170
10	不動産業	8.21%	6	73
11	電気機械器具製造業	7.63%	10	131
12	他のサービス業	6.59%	12	182
13	その他の製造業	6.06%	2	33
14	化学工業、石油製品製造業	6.00%	3	50
15	農・林・漁・鉱業	5.55%	1	18

Q2とQ3で売上高が「101」以上の業種、飲食関係が上位

Q1で「影響が継続している」、「影響が出たがすでに収束した」と答えた企業のうち、Q2とQ3で売上高「101」以上の回答をそれぞれ業種別（全企業、業種45分類、回答母数10以上）で分析した。

Q2の前年5月との比較では、「飲食業」が84.8%（33社中、28社）で、唯一8割を超えた。

Q3のコロナ前との比較では、「鉄鋼業」の59.3%（32社中、19社）が最も高く、次いで「飲食料品卸売業」の54.1%（96社中、52社）だった。こうした業種は、原材料価格の高騰やメーカーの値上げも影響しているとみられる。

23年5月の売上高が前年比「増加」の業種(上位10業種)

順位	業種	構成比	回答	母数
1	飲食業	84.84%	28	33
2	飲食料品卸売業	73.78%	76	103
3	宿泊業	71.42%	15	21
4	生活関連サービス業、娯楽業	64.06%	41	64
5	繊維・衣服等卸売業	63.15%	24	38
6	繊維工業	62.50%	30	48
6	ゴム製品製造業	62.50%	10	16
8	飲食料品製造業	61.90%	91	147
9	各種商品小売業	60.00%	6	10
10	輸送用機械器具製造業	59.70%	40	67

23年5月の売上高が19年比「増加」の業種(上位10業種)

順位	業種	構成比	回答	母数
1	鉄鋼業	59.37%	19	32
2	飲食料品卸売業	54.16%	52	96
3	各種商品卸売業	52.63%	10	19
4	飲食料品小売業	50.00%	11	22
4	農・林・漁・鉱業	50.00%	9	18
6	建築材料、鉱物・金属材料等卸売業	47.68%	103	216
7	飲食料品製造業	46.09%	65	141
8	宿泊業	45.00%	9	20
9	情報サービス・制作業	44.70%	76	170
10	化学工業、石油製品製造業	44.00%	22	50

Q4. 次の外部環境のうち、経営課題になっているものはどれですか？（複数回答）

「コロナ融資の返済」、中小企業で1割

現在の経営課題について聞いた。

最も多かったのは、「資材高騰」の62.9%（5,897社中、3,710社）だった。

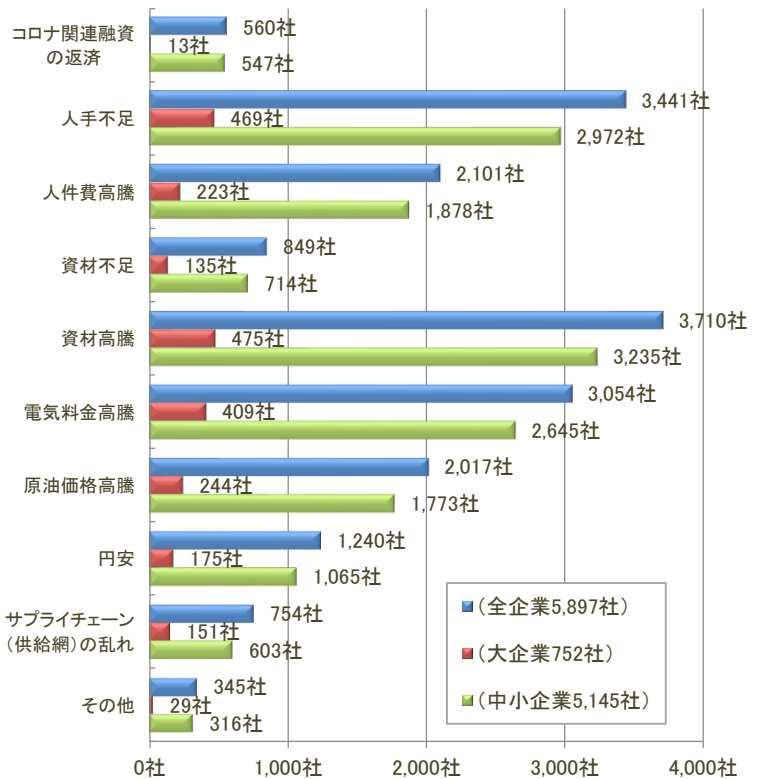
以下、「人手不足」58.3%（3,441社）、「電気料金高騰」51.7%（3,054社）と続く。「コロナ関連融資の返済」は9.4%（560社）だった。

規模別では、「コロナ関連融資の返済」は、大企業で1.7%（752社中、13社）だったのに対し、中小企業では10.6%（5,145社中、547社）だった。

また、「サプライチェーンの乱れ」は大企業が20.0%（151社）に対し、中小企業は11.7%（603社）だった。

「その他」では、「価格競争」（土木建築業、資本金1億円未満）、「インボイス導入による資金負担と手間」

（光学機械器具等卸売業、資本金1億円未満）など。



Q5. コロナ禍で政府が実施した企業向け支援策はどのように評価しますか？（択一回答）

「評価する」が45.1%、「評価しない」は19.9%

コロナ禍の企業向け支援策の評価を聞いた。最多は「ある程度評価する」の39.7%（6,073社中、2,416社）だった。次いで、「どちらともいえない」の34.9%（2,122社）。

「大いに評価する」と「ある程度評価する」を合計した「評価する」は45.1%（2,742社）、「全く評価しない」と「あまり評価しない」を合計した「評価しない」は19.9%（1,209社）。

「評価する」と回答した企業を業種別（全企業、中分類、回答母数10以上）で見ると、トップはタクシーなどの「道路旅客運送業」の76.9%（13社中、10社）だった。一方、「評価しない」は「広告業」の37.8%（37社中、14社）だった。

	全企業		大企業		中小企業	
	社数	構成比	社数	構成比	社数	構成比
大いに評価する	326社	5.36%	24社	3.08%	302社	5.70%
ある程度評価する	2416社	39.78%	259社	33.33%	2157社	40.72%
どちらともいえない	2122社	34.94%	355社	45.68%	1767社	33.36%
あまり評価しない	884社	14.55%	108社	13.89%	776社	14.65%
全く評価しない	325社	5.35%	31社	3.98%	294社	5.55%
合計	6073社	100.00%	777社	100.00%	5296社	100.00%

「評価する」業種別(上位5業種)

順位	業種	構成比	回答数	母数
1	道路旅客運送業	76.92%	10	13
2	無店舗小売業	70.00%	7	10
3	印刷・同関連業	66.26%	55	83
4	その他の生活関連サービス業	64.51%	20	31
5	繊維工業	64.40%	38	59

「評価しない」業種別(上位5業種)

順位	業種	構成比	回答数	母数
1	広告業	37.83%	14	37
2	物品賃貸業	30.18%	16	53
3	洗濯・理容・美容・浴場業	30.00%	6	20
4	その他の事業サービス業	28.92%	35	121
5	木材・木製品製造業	28.57%	10	35

Q6. Q5で「大いに評価する」「ある程度評価する」と回答された方に伺います。政府の支援策の中で評価するものは次のどれですか？（複数回答）

「給付型」「貸付型」の支持が高く

Q5で「評価する」と回答した企業のうち、2,731社から回答を得た。最多は「持続化給付金や家賃支援給付金などの返済義務のない給付型支援」の59.2%（1,617社）だった。以下、「セーフティネット保証の適用拡大や実質無利子・無担保（ゼロ・ゼロ）融資などの貸付型支援」の58.5%（1,600社）、「雇用調整助成金（コロナ特例）などの雇用維持型支援」の50.0%（1,368社）と続く。

評価する支援策を産業別で分析した。「給付型支援」は、不動産業では73.5%（68社中、50社）が評価したのに対し、運輸業では47.3%（112社中、53社）にとどまった。また、ほとんどの産業で3割程度の支持を集めた「再構築型支援」は運輸業では16.9%（19社）にとどまった。設備への投資額が大きく、資金需要が高額になりがちなことや、許認可の問題で容易に再構築しにくいことなどが背景にあるとみられる。

	全企業		大企業		中小企業	
	社数	割合	社数	割合	社数	割合
「持続化給付金」や「家賃支援給付金」などの返済義務のない給付型支援	1617社	59.20%	142社	50.71%	1475社	60.17%
セーフティネット保証の適用拡大や実質無利子・無担保（ゼロ・ゼロ）融資などの貸付型支援	1600社	58.58%	122社	43.57%	1478社	60.30%
「コロナ特別リスケジュール」などのリスケ型支援	243社	8.89%	31社	11.07%	212社	8.64%
「事業再構築補助金」などの再構築型支援	757社	27.71%	75社	26.78%	682社	27.82%
雇用調整助成金（コロナ特例）などの雇用維持型支援	1368社	50.09%	175社	62.50%	1193社	48.67%
税金や社会保険料の納付を繰り延べる猶予型支援	307社	11.24%	43社	15.35%	264社	10.77%
「全国旅行支援」や「GO TO EAT」などの需要喚起型支援	771社	28.23%	110社	39.28%	661社	26.96%
その他	47社	1.72%	8社	2.85%	39社	1.59%
合計	2731社	100.00%	280社	100.00%	2451社	100.00%

	農・林・漁・鉱業		建設業		製造業		卸売業		小売業	
	社数	構成比	社数	構成比	社数	構成比	社数	構成比	社数	構成比
給付型支援	12社	60.00%	223社	65.97%	471社	55.47%	320社	54.05%	95社	68.34%
貸付型支援	12社	60.00%	200社	59.17%	507社	59.71%	377社	63.68%	75社	53.95%
リスケ型支援	2社	10.00%	22社	6.50%	63社	7.42%	62社	10.47%	12社	8.63%
再構築型支援	7社	35.00%	85社	25.14%	266社	31.33%	148社	25.00%	37社	26.61%
雇用維持型支援	6社	30.00%	120社	35.50%	539社	63.48%	260社	43.91%	50社	35.97%
猶予型支援	3社	15.00%	43社	12.72%	84社	9.89%	64社	10.81%	22社	15.82%
需要喚起型支援	5社	25.00%	95社	28.10%	196社	23.08%	187社	31.58%	35社	25.17%
その他	2社	10.00%	2社	0.59%	11社	1.29%	9社	1.52%	2社	1.43%
合計	20社		338社		849社		592社		139社	

	金融・保険業		不動産業		運輸業		情報通信業		サービス業他		合計
	社数	構成比	社数	構成比	社数	構成比	社数	構成比	社数	構成比	
給付型支援	14社	66.66%	50社	73.52%	53社	47.32%	100社	65.78%	279社	63.40%	1617社
貸付型支援	12社	57.14%	38社	55.88%	66社	58.92%	80社	52.63%	233社	52.95%	1600社
リスケ型支援	6社	28.57%	9社	13.23%	10社	8.92%	16社	10.52%	41社	9.31%	243社
再構築型支援	9社	42.85%	18社	26.47%	19社	16.96%	41社	26.97%	127社	28.86%	757社
雇用維持型支援	12社	57.14%	27社	39.70%	66社	58.92%	69社	45.39%	219社	49.77%	1368社
猶予型支援	4社	19.04%	14社	20.58%	6社	5.35%	12社	7.89%	55社	12.50%	307社
需要喚起型支援	10社	47.61%	23社	33.82%	33社	29.46%	46社	30.26%	141社	32.04%	771社
その他	0社	0.00%	1社	1.47%	7社	6.25%	3社	1.97%	10社	2.27%	47社
合計	21社		68社		112社		152社		440社		2731社

Q7. Q5「あまり評価しない」「全く評価しない」と回答された方に伺います。評価しない理由は次のどれですか？（複数回答）

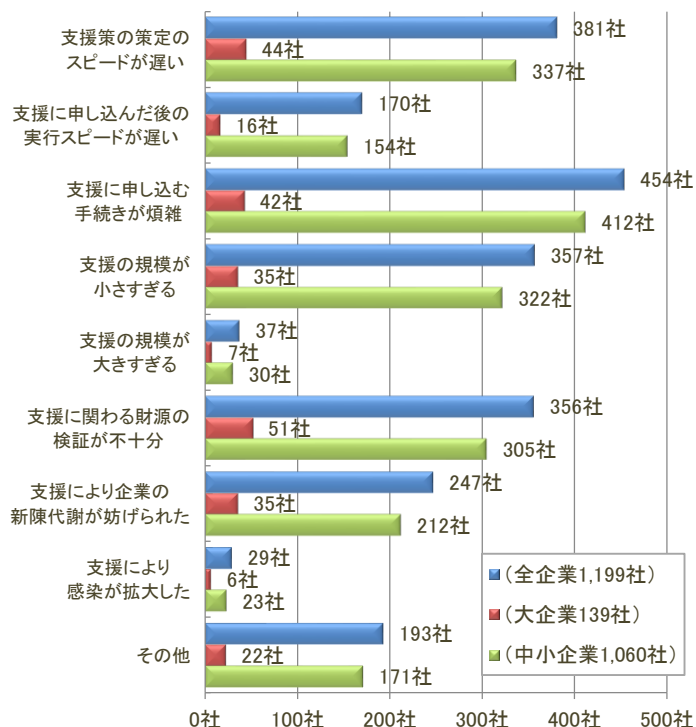
「手続きが煩雑」が最多

Q5で「評価しない」と回答した企業のうち、1,199社から回答を得た。

最多は「支援に申し込む手続きが煩雑」の37.8%（454社）だった。以下、「支援策の策定のスピードが遅い」の31.7%（381社）、「支援の規模が小さすぎる」の29.7%（357社）と続く。

規模別では、「支援に申し込む手続きが煩雑」は、大企業で30.2%（139社中、42社）に対し、中小企業は38.8%（1,060社中、412社）だった。また、「支援に関わる財源の検証が不十分」は、大企業は36.6%（51社）、中小企業は28.7%（305社）だった。大企業は、今後の保険・税負担の増大などを中小企業より懸念している可能性がある。

「その他」では、「支援する業種に偏りがある」（ビルメンテナンス業、資本金1億円未満）など。



Q8. 2022年度（4-3月）の企業倒産は、14年ぶりに全ての産業で前年を上回りました。今年度（2023年度）の貴社業界の倒産動向は、どのように予想しますか？（択一回答）

「増える」が約6割

自社の属する業界の倒産見通しを聞いた。「増える」は57.3%（4,989社中、2,861社）、「減る」は5.0%（254社）、「変わらない」は37.5%（1,874社）だった。

「増える」と回答した企業が多かった業種（全企業、中分類、回答母数10以上）は、アパレル関連がトップ2を占め、「織物・衣服・身の回り品小売業」が86.6%（15社中、13社）、「繊維工業」が81.6%（49社中、40社）だった。

「減る」と回答した企業が多かったのは、「道路旅客運送業」の27.2%（11社中、3社）、「宿泊業」の20.0%（20社中、4社）、「広告業」の18.5%（27社中、5社）など。

「増える」業種別（上位5業種）

順位	業種	構成比	回答数	母数
1	織物・衣服・身の回り品小売業	86.66%	13	15
2	繊維工業	81.63%	40	49
3	道路貨物運送業	80.74%	109	135
4	繊維・衣服等卸売業	79.62%	43	54
5	その他の生活関連サービス業	77.77%	21	27

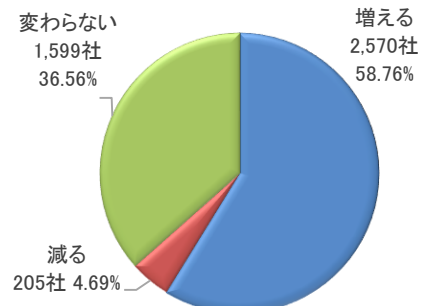
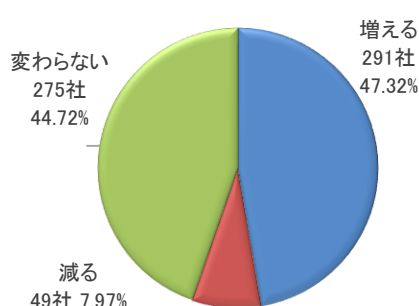
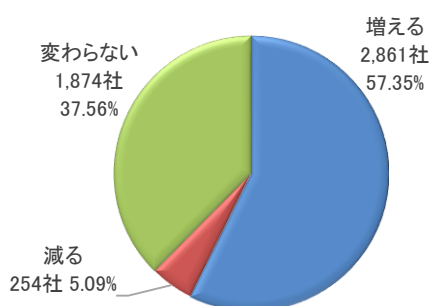
「減る」業種別（上位5業種）

順位	業種	構成比	回答数	母数
1	道路旅客運送業	27.27%	3	11
2	宿泊業	20.00%	4	20
3	広告業	18.51%	5	27
4	保険業	16.66%	2	12
5	飲食店	16.21%	6	37

（全企業4,989社）

（資本金1億円以上615社）

（資本金1億円未満4,374社）



Q9. 与信管理、調達先管理の予算・人員の計画について、昨年度と比較すると次のどれですか？

(択一回答)

「増やす」が約4割

最多は「これまでと変えない」の59.0% (5,541社中、3,272社) だった。次いで、「予算、人員とも増やす」の21.0% (1,166社)。

予算、または人員のいずれかを「増やす」と回答した企業は36.0% (1,999社) に達する。

いずれかを「増やす」と回答した企業を業種別 (全企業、中分類、回答母数10以上) でみると、トップは「道路旅客運送業」の60.0% (10社中、6社)。次いで、「自動車整備業」の58.3% (24社中、14社) だった。上位2社は、自動車に関連する業種だった。

与信管理のリソースを「増やす」業種(上位10業種)

順位	業種	構成比	回答	母数
1	道路旅客運送業	60.00%	6	10
2	自動車整備業	58.33%	14	24
3	飲食店	55.88%	19	34
4	洗濯・理容・美容・浴場業	52.63%	10	19
5	社会保険・社会福祉・介護事業	52.17%	12	23
6	運輸に附帯するサービス業	50.00%	21	42
6	保険業	50.00%	7	14
6	金融商品取引業、商品先物取引業	50.00%	5	10
9	倉庫業	48.27%	14	29
10	その他の生活関連サービス業	48.14%	13	27

()内は構成比

	中小企業	大企業	全企業
予算、人員とも増やす	1,031社 (21.17%)	135社 (20.11%)	1,166社 (21.04%)
予算のみ増やす	212社 (4.35%)	30社 (4.47%)	242社 (4.36%)
人員のみ増やす	540社 (11.08%)	51社 (7.60%)	591社 (10.66%)
これまでと変えない	2,836社 (58.23%)	436社 (64.97%)	3,272社 (59.05%)
予算のみ減らす	118社 (2.42%)	8社 (1.19%)	126社 (2.27%)
人員のみ減らす	26社 (0.53%)	2社 (0.29%)	28社 (0.50%)
予算、人員とも減らす	107社 (2.19%)	9社 (1.34%)	116社 (2.09%)
合計	4,870社 (100.00%)	671社 (100.00%)	5,541社 (100.00%)



コロナ禍の影響について、「すでに収束した」と回答した企業が40.1%に達し、調査を開始して以来、最高となった。5月8日に新型コロナウイルスの感染法上の位置づけが「2類相当」から「5類」に移行したことなどで、企業動向に変化が生じている。

コロナ禍 (2020年2月～2023年4月) の企業倒産 (負債1,000万円以上) は、月平均564件にとどまり、コロナ禍前の2019年 (1-12月) の同698件を大きく割り込んだ。コロナ禍の企業向け支援が倒産抑制に効果を見せ、支援を「評価する」と回答した企業が45.1%に達したとみられる。

一方、対面型サービス業やエッセンシャルワーカー向けなど恩恵の偏りが避けられなかったこともあり、「広告業」や「物品賃貸業」などは「評価しない」が3割を超えた。

「評価しない」のうち、2割を超える企業が「財源の検証が不十分」、「企業の新陳代謝が妨げられた」と回答した。雇用調整助成金の増額を背景とした雇用保険の引き上げにより、今後、企業 (雇用主) と労働者の負担が増加する。また、政府は「新しい資本主義実現会議」のなかで「GX・DXを進めるための企業参入・退出の円滑化」を謳うが、コロナ禍での資金繰り支援がこのマインドを妨げている恐れもある。支援策への評価の声は多いが残した課題も多く、着実に出口戦略の取り組みを進めることが欠かせない。

また、今年5月の売上高がコロナ禍前 (2019年5月) を上回ったと回答した企業は50.8%に達した。ただし、物価上昇に伴う値上げが続いていることを加味すると、数量 (受注量) が増加した企業は5割を切っている恐れもある。企業間、消費者物価指数の上昇が続くなか、こうした数値を額面通り受け取ることは出来ない。

現在の経営課題については、「資材高騰」と「人手不足」をあげる企業がともに約6割に達した。「コロナ融資の返済」との回答も約1割にのぼり、コロナ支援の副作用と構造的な課題の両方に対応が必要な難しい局面を迎えている。今年度 (2023年度) の企業倒産は約6割の企業が増加を予想した。状況次第では5類移行で上向く企業や消費者マインドが急激にしぼみかねない。

消費拡大や生産性向上による賃上げ、過剰債務への対応などが進まないなか、コロナ禍のような一点突破の支援策では乗り切れない時局に突入している。